

『新1年生のお世話をしよう』の実践

札幌市立幌北小学校 新井 弘通

◆単元のポイント

- 「してもらう自分」から「してあげる自分」へ

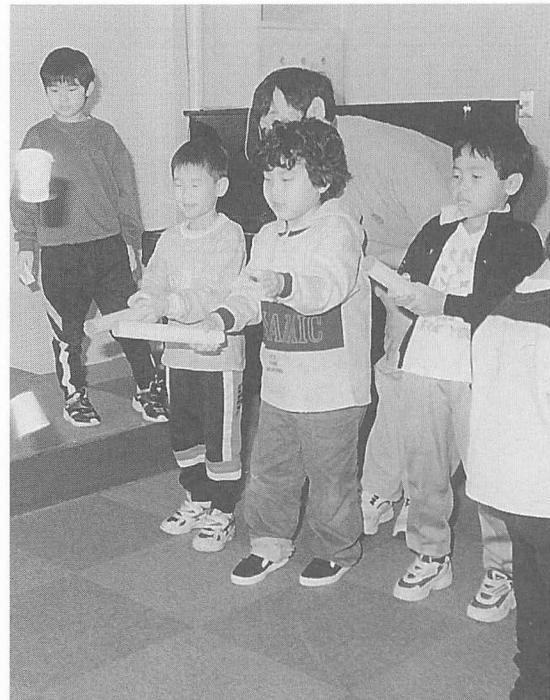
小学校内では一番下の学年であったため、上級生からいろいろとお世話をもらった1年生。自分より下の学年の子へお世話してあげる体験を通して自分の成長に気付かせます。

- お世話は1対1対応で

新1年生のお世話はできるだけ1対1対応にする。そうすることでどの子にも「自分がやらねば」と一日入学を自分ごととしてとらえさせるようにします。

- 活動枠は教師が決める

受け付け時間に入れると、お世話の時間は、1時間以上になります。子供の思いにまかせて自由に活動を組ませてしまっては、一人一人が明確なめあてをもてず、かえって挫折感を味わってしまうおそれがあります。そこで、活動の枠は教師が決め、子供たちには、その中で今までの学習の成果を総動員してそれぞれのよさを発揮できるようにさせます。



◆単元の目標

- 一日入学で、新1年生を喜ばせるための準備を最後までやり通そうとする。
(関心・意欲・態度)
- 新1年生に対するお世話の内容を考え、自分なりに工夫して準備の活動をする。
(思考・判断・表現)
- 新1年生をお世話する活動を通して、自分ががんばりやよさ、自分の成長に気付く。
(気付き)

◆単元の構想（16時間扱い）

新1年生のお世話をしよう

＜コンピュータ＞

紹介タイムの名刺づくり

（コンピュータを

使って作らせるこ

とも可能

新1年生がやってくるよ（2）

- ・こんなことをしてあげたいな

※活動枠を提示

- ◎紹介タイムー名刺をわたす、クイズなど
- ◎製作タイムー動くおもちゃ作り
- ◎遊びタイムー体育館で小グループで遊ぶ

一日入学の準備をしよう①（4）

- ・計画をたてよう
- ・紹介タイムの準備をしよう
- ・遊びタイムの準備をしよう

一日入学の準備をしよう②（4）

- ・製作タイムの準備をしよう
- ・動くおもちゃ作り

3つの条件

- ★新1年生が作れるか
- ★30分以内で完成するか
- ★新1年生が楽しめるか

＜図工＞

「ころころおもちゃ」

と関連

＜留意点＞

一年前の自分を想起させ、一日入学へのイメージを高めたい。活動枠は教師が決める。

困ったり不安になった時に友だちと相談しやすいように準備する順番はどの子も共通にする。

＜国語＞

「よけがよくわかる

よ」に書くと関連

一日入学の準備をしよう③（2）

- ・新1年生がきても大丈夫かな
- ・○○タイムの準備をしよう

一日入学を成功させよう（当日）（2）

今までの活動を振り返ろう（2）

動くおもちゃは、「新1年生の技能と時間」「遊んで楽しいか」「工夫の余地があるか」という観点を考慮し、教師が複数の見本を提示する。一年前の自分と比較させることで、自分の成長に気付かせたい。

◆実践するにあたって

一日入学当日にお世話する新1年生が欠席することもあり得ます。状況に応じて2対1や1対2でお世話することも視野に入れて準備することが大切です。また、今回子供たちが新1年生と創ったかかわりは、入学後も持続させ「学校探検」や「公園探検」などの活動を1, 2年生ペアで行うことに発展することが期待できます。